

第61回
関西社会学会大会
プログラム

第1日 2010年5月29日(土)

第2日 2010年5月30日(日)

開催校

名古屋市立大学

第1日 5月29日(土)

◆理事会 11:30~13:00 (1号館103)

◆受付開始 13:30 (1号館玄関ホール)

◆研究報告I 14:00~16:30

[第1室] 理論・学説I (2号館208) 司会:宮本孝二(桃山学院大学)

- 機能分析の論理とモデル 新 睦人
——「社会学的機能主義」の今日的な課題——
- ルーマン社会システム理論による時間の知識社会学の検討 溝口佑爾 京都大学
——理論社会学の新たな基礎付けの可能性として——
- ルーマン「象徴的メディア」論におけるコードとプログラム 碓井 崧
- H. Willke の象徴システム理論についての考察 高橋顕也 京都大学
——社会システムと言語の関係づけを焦点として——

[第2室] 理論・学説II (1号館204) 司会:中島道男(奈良女子大学)

- アルヴァックスと記憶の社会学 金 瑛 京都大学
——ベルクソンの記憶理論との比較から——
- 21世紀型社会学:社会なき社会学? 山下雅之 近畿大学
——バウマン、ベック、アリー、デュベによる展開——

[第3室] 職業・家族・パーソナリティ (2号館204) 司会:岩井八郎(京都大学)

共同研究:職業と家族とパーソナリティ長期追跡調査の分析

- ライフコース追跡研究の分析枠組みと可能性 ○吉川 徹 大阪大学
○久山健太 大阪大学
- 中高年期における意識変容の日米比較分析 ○阪口祐介 大阪大学
藤原 翔 日本学術振興会
- 中高年期の親子関係に対するライフコース論的アプローチ ○赤枝尚樹 大阪大学
○伊藤理史 大阪大学
- 就労期の職業意識が中高年男性の社会参加に与える影響 ○宮田尚子 大阪大学
永吉希久子 追手門学院大学

[第4室] 都市・地域（2号館205） 司会：原田隆司（甲南女子大学）

1. 沖縄の労働世界の構成過程
——ライフヒストリーからみる「経済的条件」「社会関係」「価値・労働観」のダイナミズム——
上原健太郎 大阪市立大学
2. 農業機械普及における「関係」の販売
——岡山県津山市での農業機械販売の事例から——
芦田裕介 京都大学
3. 社会不平等・格差意識に対する居住地特性の効果の検討
——マルチレベルモデルを用いて——
白川俊之 同志社大学
4. 中山間地域における合併自治体の現状
御薬袋啓子

[第5室] 社会運動・集合行動（2号館206） 司会：片桐新自（関西大学）

1. 創れる共同体，インテンショナル・コミュニティ（Intentional Communities）
——ICs とエコロジー——
田 恩伊 神戸大学
2. オンライン上の互酬的情報交換に関する一考察
——NCネットワーク「技術の森」に関する事例分析——
宮本琢也 久留米大学
3. 不安定化する雇用に伴う労働者の「生きにくさ」
——ある女性コミュニティ・ユニオン組合員たちへのインタビューを事例として——
仁井田典子 首都大学東京

[第6室] リスク・情報（2号館301） 司会：阿部 潔（関西学院大学）

1. 個人化するリスク社会における専門家の役割
加藤源太郎 プール学院大学
2. 社会問題としての「盗撮」の変容と監視社会化
——三大紙の内容分析を中心に——
松井広志 大阪市立大学
3. 気温上昇はCO₂濃度変化の結果か原因か
——メディア論からみた温暖化論争の一局面——
高田茂弘 金城学院大学
(非常勤)

[第7室] 社会問題（2号館302） 司会：岸 政彦（龍谷大学）

1. 共同研究：変容する都市型部落——2009年住吉地域労働実態調査から——
 - (1) 住吉地区の変容と部落（民）アイデンティティ
内田龍史 大阪市立大学
 - (2) 再不安定化する都市型部落の労働と生活
妻木進吾 大阪市立大学
2. 犯罪予防の「安全・安心まちづくり」に対する社会学的考察
竹中祐二 京都府立大学
3. 経済的ストレスと殺人
——クロスセクション、時系列および都道府県別パネル分析——
平野孝典 大阪大学

[第8室] 社会福祉・医療Ⅰ（2号館305） 司会：中川輝彦（熊本大学）

- | | | |
|--|-------|--------|
| 1. もうひとつの物語
——軽度障害者をめぐって—— | 秋風千恵 | 大阪市立大学 |
| 2. 作業療法士の対象者理解の方法と役割
——身体障害分野における事例報告の検討—— | 難波悦子 | 吉備国際大学 |
| 3. 保育実践における医学的言説の解釈過程
——「発達障害」カテゴリーの構築をめぐって—— | 末次有加 | 大阪大学 |
| 4. 声の社会学
——痙攣性発声障害に注目して—— | 野島那津子 | 京都大学 |

[第9室] ジェンダーⅠ（2号館306） 司会：山根真理（愛知教育大学）

- | | | |
|---|------|--------|
| 1. 支援者が子どものときに受けた性暴力被害体験が支援におよぼす影響 | 伊藤良子 | 大阪府立大学 |
| 2. 沖縄の地方史誌の中の「慰安婦」表象 | 玉城福子 | 大阪大学 |
| 3. 加害国の被害者であるということ
——日本人「慰安婦」表象に関する一考察—— | 木下直子 | 九州大学 |

[第10室] 【テーマセッション】（1号館203） 司会：中河伸俊（大阪府立大学）

ゴフマンの方法論を再点検する——ゴフマンは「使える」のか

- | | | |
|---|-------|--------|
| (1) 方法論としてのゴフマン
——「酸っぱい葡萄」あるいは「幸福な奴隷」問題—— | 天田城介 | 立命館大学 |
| (2) ゴフマンによるフレーム分析
——エピソードの中の「社会的事実」から—— | 魁生由美子 | 島根県立大学 |
| (3) ゴフマンとEM/CA | 平 英美 | 滋賀医科大学 |
| (4) 相互行為秩序における可視性をめぐる知見の使い勝手
——性同一性障害をめぐる現象の分析から—— | 鶴田幸恵 | 奈良女子大学 |

◆総会 16:45～17:30（2号館207）

◆懇親会 18:00～20:00（生協食堂）

第2日目 5月30日(日)

◆受付開始 9:30 (1号館玄関ホール)

◆研究報告Ⅱ 10:00~12:30

[第1室] 理論・学説Ⅲ(2号館208) 司会:山田富秋(松山大学)

1. 科学としてのゴフマネスク 渡辺克典 名古屋大学
2. 相互行為秩序分析の基礎視角 木村雅史 東北大学
——『フレーム分析』の検討を通して——
3. 公的な場での相互行為の忌避 森 俊樹 京都大学
——「当惑」の帰属と認識という視点から——

[第2室] 理論・学説Ⅳ(1号館204) 司会:高橋由典(京都大学)

1. 自己組織システムとしての自己 磯部卓三
——C.H.クーリーの自己論再訪——
2. 社会的行為における「意図せざる結果」について 山本博子 京都大学
——Weber, M.の方法論とフレーム選択モデル——
3. 「フリ」による「オチ」の投射について 平本 毅 立命館大学
——Harvey Sacksの「第一動詞」概念を手がかりに——

[第3室] 社会調査法・社会移動(2号館204) 司会:大谷信介(関西学院大学)

1. 質問紙調査のデータ解析における問題点とその解決策 真鍋一史 青山学院大学
——Multimethod Data AnalysisとExploratory Data Analysis——
2. 世代間移動研究における機会の平等の再検討 平尾一朗 大阪大学
——アダム・スウィフトの完全移動批判を参考に——
3. 予測研究の予期せざる結果 鎌田大資 椋山女学園大学
——アーネスト・W・バージェスの予測研究をめぐって——
4. 社会学的予測の諸様式 藤原英男

[第4室] 家族(2号館205) 司会:神原文子(神戸学院大学)

1. メイド雇用による主婦役割の変容 山本理子
——フィリピン・マカティ市の駐在日本人主婦の経験から——
2. 近世後期海村における婚外出生についての一考察 中島満大 京都大学
——肥前国野母村を事例として——
3. 近現代日本社会における愛の再帰的変動 桶川 泰 神戸大学
——『婦人公論』における愛の理念をめぐる言説から——
4. 失踪者の家族社会学 中森弘樹 京都大学
——失踪をめぐる社会学的考究の嚆矢として——

[第5室] 政治・国家（2号館206） 司会：鶴飼孝造（同志社大学）

1. 社会支出と公教育支出の規定要因分析
——伝統宗教経路と高度成長経路の検証——
柴田 悠 日本学術振興会
2. 新保守系知事の支持構造
——石原・橋下知事における支持要因の比較分析——
松谷 満 桐蔭横浜大学
3. 国家暴力の克服と「法」的解決
——再構成された「死者」としての「準軍属」と「犠牲者」をめぐって——
高 誠晩 京都大学
4. NHK 番組改編問題と脱政治化の「暴力」
——同事件における、裁判・言説・政治介入を事例として——
倉橋耕平 関西大学

[第6室] 労働（2号館301） 司会：馬込武志（湊川短期大学）

1. 障害者労働の場にある交換とジレンマ
青木千帆子 立命館大学
2. 感情労働職としてのフリースクールスタッフ
井上 烈 京都大学
——共感的理解を通じたスタッフの感情経験に着目して——
3. 共同研究：医療専門職の感情労働
- (1) 感情労働調査の概要
○竹内慶至 金沢大学
高松里江 日本学術振興会
- (2) 感情労働調査の分析
○高松里江 日本学術振興会
竹内慶至 金沢大学

[第7室] 社会意識（2号館302） 司会：太郎丸博（京都大学）

共同研究：大衆教育社会における学生の意識

- (1) 2009年学生調査の計量分析から
友枝敏雄 大阪大学
- (2) 大学生・専門学校生の授業への取り組み
小柏 円 大阪大学
- (3) 消費嗜好と社会観・政治的態度について
西山 慧 大阪大学

[第8室] 社会福祉・医療Ⅱ（2号館305） 司会：藤澤三佳（京都造形芸術大学）

1. 回復過程における「ふつう」という基準
——入院患者の語りから——
細川つや子 岡山大学
2. 統合失調症者のアイデンティティ再構築過程
樋口麻里 大阪大学
——安住の地の発見と新しい人生としての出発——
3. 家族による「介護」の構築
木下 衆 日本学術振興会
——認知症／家族介護研究への構築主義アプローチの適用——
4. 生徒類型の産出と進路指導の困難性
佐藤貴宣 大阪大学
——盲学校における日常的実践を手がかりに——

[第9室] エスニシティ (2号館306) 司会: 伊地知紀子 (愛媛大学)

1. プロフェッションという排除
——在日欧米人と日本の労働市場——
デブナール・ミロシュ 京都大学
2. 多文化主義政策の社会統合に対する影響
——国際比較調査データの分析から——
永吉希久子 追手門学院大学
3. もうひとつの在日朝鮮人形成史
——戦後の「密航」・「密貿易」を対象として——
朴 沙羅 京都大学
4. 再帰的近代における若者ムスリムのアイデンティティについて
安達智史 日本学術振興会

[第10室] ジェンダーⅡ (1号館203) 司会: 田間泰子 (大阪府立大学)

1. 台湾におけるヤオイ同人文化
——作者インタビューによって見えたヤオイの世界——
周 典芳 慈済大学
2. 女性向け漫画に描かれる異性愛
——「やおい」との連続性についての考察——
秦 美香子 神戸大学
3. 「男」の強調と近代社会の公私区分
——雑誌における父親像——
巽 真理子 大阪府立大学
4. 福井県の女性労働と少子化
——「仕事と育児の両立」の現状と課題——
織田暁子 京都大学

◆ポスターセッション 10:00~13:30 (2号館2階ホール)

- 生活世界の映像記述とは何か
——アルバート湖岸漁村の映像を通して——
田原範子 四天王寺大学

事務局よりお願い

- ・会場および周辺では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は50部程度ご用意ください。
- ・機器や接続には故障や不具合がある場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる30分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。
- ・パワーポイント2007は、機器の関係により使用を保障できません。パワーポイント97-2003の形式のファイルをご持参ください。
- ・ポスター報告は、5月30日(日)9時30分までに所定の位置にお集まりいただきポスター掲示をしてください。時間中は原則としてポスターの前にいるようにしてください。ポスターの掲示スペースは、縦 150cm×横 100cm程度以内でお願いします。

◆シンポジウム 13:30~17:00

第1シンポジウム 暴力と人間 (2号館207)

司会：好井裕明 (筑波大学)・田中 滋 (龍谷大学)

第1報告 暴力／非暴力／反暴力 酒井隆史 大阪府立大学

第2報告 家族と暴力 井上眞理子 京都女子大学

——ファミリー・バイオレンスの発生とそれへの対応——

第3報告 戦争と性暴力 大越愛子 近畿大学

第4報告 暴力に引き裂かれた社会はいかに癒されるか 松田素二 京都大学

——アフリカにおける大量殺戮後の社会的和解の可能性——

討論者 亘 明志 長崎ウエスレヤン大学

荻野昌弘 関西学院大学

第2シンポジウム 労働における差別と排除 (2号館404)

司会：野々山久也 (甲南大学)・沢田善太郎 (広島国際学院大学)

第1報告 日本におけるワーキング・プア問題と社会への包摂 福原宏幸 大阪市立大学

——連合総研ワーキング・プア調査から——

第2報告 愛知派遣村の支援活動 大山小夜 金城学院大学

——貧困と排除に取り組むある民間組織への参与観察——

第3報告 基礎自治体の就労支援・雇用創出 筒井美紀 法政大学

——試行錯誤のリアリティ——

討論者 上村泰裕 名古屋大学

阿部真大 甲南大学

2010年度関西社会学会総会

日時 5月29日(土) 16:45～

会場 2号館207教室

総会次第

開会の辞

会長挨拶

議長発議

〈報告〉

庶務報告

編集委員会報告

その他

〈議事〉

2009年度決算の承認について

2010年度予算案の承認について

来年度開催校について

その他

閉会の辞

以上

参加費用

大会参加費		2,000円
懇親会費	一般	5,000円
	学生	3,000円
年会費(今年度分)	一般	4,500円
	学生	3,500円

名古屋市立大学 滝子（山の畑）キャンパス

<交通アクセス>

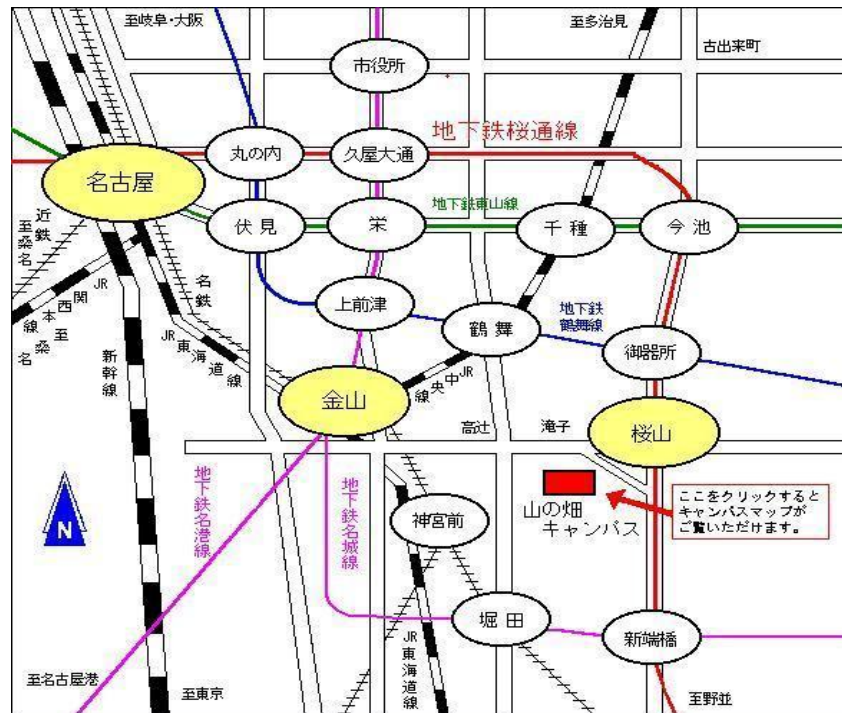
◆名古屋駅から地下鉄利用

地下鉄桜通線「野並行」で『桜山』下車。西へ徒歩約15分。

◆金山総合駅（JR・名鉄）からバス利用

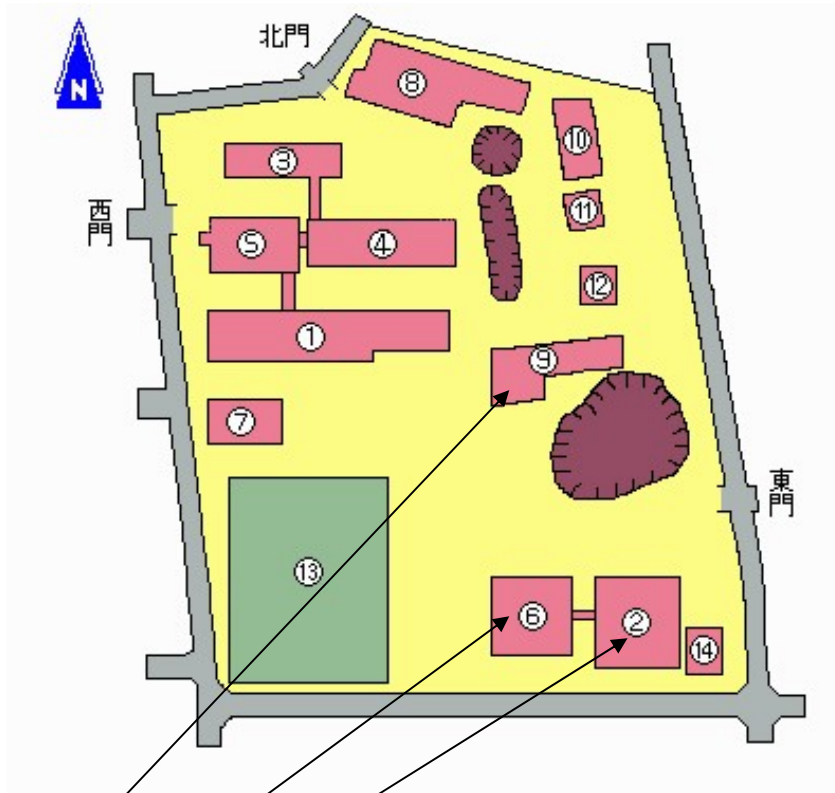
金山バスターミナルから、市バス 金山11「池下行」・12「妙見町行」・14「瑞穂運動場東行」・16「瑞穂運動場東行」系統で『滝子』下車。南へ徒歩5分。

*タクシー利用上の注意；「滝子（山の畑キャンパス）」と必ず運転手に指示願います。大学病院のある「桜山（川澄）キャンパス」と勘違いされることがあります。



地下鉄から会場への近道：地下鉄「桜山駅」5番出口から南一筋目（角のビル1階に補聴器センター）を西へ進み（途中の一部、かなり細い道になります）、滝子キャンパス東門へ。

滝子（山の畑）キャンパス・マップ



- ② 1号館（人文社会学部棟）**受付**
- ⑥ 2号館（教養教育棟）
- ⑨ 生協食堂・学生会館

